

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和5年1月16日

協議会名: 諏訪市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画等の計画策定等に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行計画の評価 ・地域内の公共交通に関する現況調査 ・地域住民のニーズ調査 ・諏訪市地域公共交通計画(案)の取りまとめ ・協議会開催 <p>当市は、「諏訪市生活交通ネットワーク計画」に基づき、路線バス(かりんちゃんバス)を中心とした公共交通の見直しや路線改正を図り維持確保を行ってきたが、少子高齢化や人口減少、新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響により、公共交通利用者は平成22年138,692人をピークに減少傾向にある。運賃収入が減少したことによる運行事業者への補助金が増加し、市の財政負担が大きくなり、事業の継続には厳しい状況が続いている。このような状況を踏まえて、「立地適正化計画」に沿って、令和4年度に本調査事業を活用し市民や高校生、交通関係者等にアンケート調査を実施することにより、公共交通に対する利用実態やニーズを把握・整理し、公共交通の課題・要因及び既存路線バスを最大限活用しつつ、より利便性の高いAIオンデマンド交通の導入の可能性について分析・検討していく必要がある。分析結果を踏まえて、課題の解決策を見出し、毎年目標値を設定し、検証することによって地域特性に応じた持続可能な公共交通網を具体的に構築していくために「諏訪市地域公共交通計画」を策定するものである。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された</p>	<p>市民や高校生、交通関係者等にアンケート調査を実施し、公共交通に対する利用実態やニーズを把握・整理することができた。また、公共交通の課題・要因及び既存路線バス(かりんちゃんバス、かりんちゃん子バス)の分析結果を踏まえて、課題の解決策を見出し、毎年目標値を設定することができた。</p> <p>今後は、諏訪市地域公共交通計画を令和5年3月末までに策定し、今後5年間の持続可能な地域公共交通網を構築する。具体的には、定時定路線の循環型バス運行を見直し、計画期間内に利便性の高いAIオンデマンド交通を導入し、市民の安全安心な公共交通体系を構築する。</p>